

### 1 事務事業の概要【Plan】

行政評価番号	711	010	事業種別	自治事務	委託の状況	-	指定管理開始	-	年度	
	711 010		自治事務		-	-	年度			
政策体系	総合計画	頁	編	章	節	施策の体系	4	情報公開		
		173	6	1	1	体系の項目	1	行政情報の公開		
	個別計画	-					個別計画の目標値	-		
根拠法令等	-									
事業期間	事業開始	11	年度	終了予定	-	理由等				
	終了予定	-	年度							
事業目的	市議会情報を公開し、議会の運営や議員活動の状況を広く市民に広報する。									
事業内容	対象 (誰・何を)	全市民								
	手段 (どんな方法で)	市議会だよりの発行 ○年4回発行:4・7・10・1月に発行(定例会翌月20日) ○ページ:10~12ページ(A4サイズ)/回 ○配布部数:12,750部/回 ○配布方法:全戸ポスティング方式(市報こまがねと合わせて配布)…市ウェブサイトへも掲載 ○編集体制:議会報編集委員会(議員7名)、議会事務局職員 …議会の審議状況、一般質問の内容、議会の運営状況等を踏まえ、議員自ら紙面校正等の作業を行う。								
	目的 (どうしたいか)	市議会に対する市民の関心を高め、議会活動に対する適正な判断を仰ぐことで、開かれた議会の実現を図る。								
事業を取り巻く状況	議会の活性化と情報公開は地方議会に課せられた責務となっている。こうしたなかで、平成11年4月に市議会だよりが創刊された後、平成23年1月までに計48回の議会報が発行されている。									
過去の評価結果	区分	年度	方向性	次年度に向けての主な改善点等(改善事項がない場合はその理由)						
	市民評価	-	-	-						
総合評価	20	継続	情報提供に必要な事業で手法も妥当であるため、今後は親しみやすく特色のある紙面づくりのため編集委員の資質向上を行いながら継続していく。							
改善の状況	前回評価後の改善結果	先進地の視察研修等と、広報コンサルタントの指導を受け、読みやすい紙面づくりとするための改善を行った。 ・配布方法の変更(新聞折込→H21年度よりポスティング方式へ) ・紙面の変更(文字サイズの変更・一般質問における理事者の答弁要旨を掲載)								
	現在進行中の改善内容(事務改善計画の概要等)	読みやすい紙面づくりとするための紙面構成の改善を計画中 ・現行の1ページ4段構成を、1ページ6段構成に変更を予定								

### 4 事務事業の今後の方向性【Action】

区分(評価者)	方向性	次年度に向けての主な改善点等(改善事項がない場合はその理由)								
市民評価	-	-								
総合評価	継続 [コスト維持]	議会報に対する市民ニーズの把握を屋行い、より読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努める必要がある。								

### 2 事務事業の執行状況【Do】

費用実績 (単位:千円)	予算事業コード	1601	20年度決算額	21年度決算額	22年度決算額	23年度予算額	24年度目標額
	A 事業費		1,140	897	1,122	1,383	1,383
	財源内訳	国・県補助等					
		起債					
		受益者負担金(使用料等)…D					
		その他( )					
		一般財源	1,140	897	1,122	1,383	1,383
	B 人件費	人数	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
		金額	713	704	684	684	684
	C 費用合計(A+B)		1,853	1,601	1,806	2,067	2,067
主な費用内訳	印刷製本費	684	676	836	1,093	1,093	
	配布委託料	456	221	286	290	290	
費用増減の理由	平成21年度より、配布方法を新聞折込からポスティング方式に変更したため委託料が減額						
指標の数値化	項目名	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	
	活動指標	議会報発行回数	4回	4回	4回	4回	4回
		市ウェブサイト更新回数	4回	4回	4回	4回	4回
	成果指標	年間総ページ数①	40頁	44頁	48頁	48頁	48頁
		年間発行部数②	54,000部	51,000部	51,000部	51,000部	51,000部
	分析指標	1ページにかかる作成経費 〔(印刷製本費+人件費)÷①〕	35円	31円	32円	37円	37円
		1部当たりの作成・配布経費 〔C費用合計÷②〕	34円	31円	35円	41円	41円
《参考》受益者負担率 D/C		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

### 3 事務事業の評価・課題【Check】

【評価値】 A=高い B=比較的高い C=比較的低い D=低い

項目	評価のポイント	項目評価	判断理由	評価
必要性	① 市民のニーズは高いか	B	市議会の情報を得る手段の一つとしての市民ニーズは高い一方で、議会に対する関心度の低下が懸念される状況にある。	A
	② 市が主体的に実施する必要があるか	A	議会は市民に説明責任を果たす責務があり、議会事務局としても議会報の発行を主体的に実施する必要がある。	
	③ 市民・民間への役割分担がされているか	A	議会報作成(紙面校正等)は議員が中心に行うなど、議員と議会事務局とで役割分担をしている。	
有効性	④ 事業目的に対して成果を上げているか	B	全世帯に情報の発信はされているが、実際の程度の方が読んでいただいているのか把握をする必要がある。	B
	⑤ 活動の結果が成果に結びついているか	B	情報提供の一つの手段としては有効と考えるが、別の手段も取り入れ、複合的に情報の提供をする必要がある。	
	⑥ 市民の満足度は高いか	B	議会に関心のある方にとっては満足度は比較的高いと思われるが、関心の低い方にも読んでいただける工夫が必要。	
効率性	⑦ 活動は効率的な方法で実施されているか	B	定例会の翌月には発行しており、迅速な情報発信を行っているが、会議録作成等には時間を要している。	B
	⑧ 活動量・成果に対して投入コストは適切か	B	実際に読んでいただいている方が少ないと推測され、成果に対するコストという点では課題がある。	
	⑨ 連携・統合等により効率化が図られているか	A	市報の発行に合わせ、ポスティング配布することで、配布経費の削減につながっている。	
改善の余地	有効性(④~⑥)を向上させる余地はあるか	有	議会に対する関心を高めるために、市民からの意見を聴取し、親しみやすい紙面へと改善をする必要がある。	有
	効率性(⑦~⑨)を向上させる余地はあるか	有	会議録作成や編集作業に要する時間の短縮を図り、効率化を進めていく必要がある。	
課題	議会に対する関心度の低下が懸念される状況にある中で、この「市議会だよりの発行」が議会に関心を持つきっかけとなるような、親しみやすい紙面づくりが課題。			